

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道410号 久留里馬来田バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	千葉県
起終点	自：千葉県君津市広岡 至：千葉県袖ヶ浦市高谷			延長	10.7km	
事業概要 一般国道410号は、千葉県館山市を起点とし、鴨川市を経て木更津市に至る延長約95kmの幹線道路である。久留里馬来田バイパスは、圏央道の木更津ICへのアクセス道路として、また、君津地域の交通混雑解消と地域振興の促進を目的とした延長10.7kmの2車線のバイパスである。						
S60年度事業化		H6年度都市計画決定		S60年度用地着手		H元年度工事着手
全体事業費		約130億円		事業進捗率		58%
計画交通量		11,200台/日		供用済延長		4.2km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.6		総費用 (残事業/事業全体) 74/88億円 (事業費：69/83億円 維持管理費：5/5億円)	総便益 (残事業/事業全体) 141/141億円 (走行時間短縮便益：186/186億円 走行費用減少便益：-26/-26億円 交通事故減少便益：-18/-18億円)	基準年 平成15年
	(残事業)	1.9				
事業の効果等 ・個性ある地域の形成（観光地へのアクセス強化） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上） ・他のプロジェクトとの関係（首都圏中央連絡自動車道） 他4項目に該当（定量的評価項目を除く）						
関係する地方公共団体等の意見 国道410号は、南房総全域を結ぶ重要幹線道路として、地域の産業、経済、文化の発展に大きく貢献すると期待されており、君津市をはじめとする関係6市8町1村の首長で構成される国道410号並びに関連道路整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成15年11月26日）を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 現道は、屈曲している上に道幅が狭く、休日を中心に久留里市街地などで渋滞が発生しており、また、山砂運搬の大型車が多く、歩行者の安全性が十分でなく、経済活動、日常生活に支障をきたしている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに4.2kmを部分供用し、残る部分については主に用地買収を進めている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 十分な事業費が確保できず、長期化を余儀なくされているが、これまで、圏央道に直接つながる馬来田工区を先行させてきたところであり、残る部分は平成14年度に用地買収に着手し、順調に進展している。						
施設の構造や工法の変更等 投資効果の早期発現のため、道路ネットワークを検討のうえ、必要性、緊急性の高い工区から重点的に整備を進める。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は高く、早期の完成が必要と考えられる。						
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。